

別紙1

	審議委員からのご意見・質問	担当課	ご意見・ご質問に対して
1	希望出生率をKPIとしてはどうか。	企画財政課	戦略策定時に独自の出生・結婚等に関するアンケート結果等をもとに市（町）民希望出生率を算出しKPIとして設定している一部自治体も見受けられます。算出には一定数以上の市民への調査が必要となることなどを踏まえ、次期戦略でのKPIとしての設定は難しいと考えます。第4期以降、策定する際に参考とさせていただきます。
2	情報発信ではフェイスブックのフォロワー数ではなく、例えば、アウトプットの方で月に1回更新しますという目標をたてる、アウトカムではリツイート数が何名といった感じの方が評価しやすいと思います。	地域振興課	町ではFacebookを含めLINEやInstagramなどの各種SNSで発信をしています。多岐にわたる町のSNSをまずは認知してもらうことを目標に現在のKPIを設定しています。アウトカムのKPIは、正確な発信数を計測することができないため、設定は難しいですが、より共有したくなるような情報発信の内容に努めていきたいと考えています。
3	出生記念品についても「かてて」に入っていなくても事業に参加したい方もいると思うので固定化しないで例えば1年単位で募集をかけて入れ替わりにしてはどうか。	住民課 地域振興課	出生記念をきっかけにかけて登録いただくことで、出品者自身にもかけての活動を知り、活用してもらいたいという狙いと、さまざまな商品を扱う作り手が増えることで、かてて自体のブランド力の向上をはかるというねらいがあります。ただ声かけはかけて登録者中心に声かけをしており、広く出品者を受けるためにも改善していく必要があると考えています。
4	シルバー人材センターの就労人数をKPIとしては。	福祉課	現在、9割以上が実際に就労を行っているおり、登録者数と就労人数に相違はないと考えています。登録者数をKPIとしている。
5	新規就農支援事業の名称から、事業内容分かりづらい（他の新規就農支援事業との混同しやすい）ので検討を。	農政課	事業名を「親元就農支援事業」に変更し、第3期よかまち創生プロジェクト（案）においても事業名・事業内容について変更している。